

平成26年12月17日

防災訓練システムの公開と訓練風景見学会のご案内

香川大学危機管理研究センターでは、想定を超える災害発生時において「適切な状況判断」、「素早い意思決定」、「速やかな行動」ができる、実践力（防災コンピテンシー）を備えた人材の育成を目的に「災害状況再現・対応能力訓練システム」（防災訓練システム）を開発しています。平成26年10月より一般公開を開始し、どなたでも無料で訓練の体験ができるようになっています。

この度、平成27年1月5日（月）に高松市教育委員会の学校安全管理研修会のプログラムとして、約100名の教員の方に防災訓練システムを使用し、地震発生時の学校現場での初動対応・二次対応・引き渡しの訓練を体験していただきます。

報道機関の皆様方に、訓練システムの公開をかねて訓練の様子を見学していただきます。

日時：平成27年1月5日（月）13:50~14:50, 15:00~16:00 の入れ替え制

場所：香川大学林町キャンパス（高松市林町2217-20）工学部1号館11階シミュレーター室

参加者：高松市教育委員会 平成26年度学校安全管理研修会 参加者約100名

内容：I 訓練「初動対応・二次対応」「引き渡し」

講師 井面仁志（香川大学工学部 教授）

磯打千雅子（危機管理研究センター 特命准教授）

高橋亨輔（危機管理研究センター 特命助教）

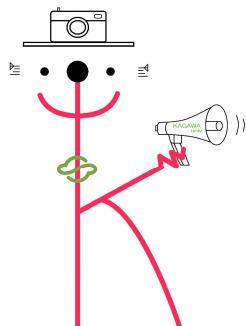
高橋真里（危機管理研究センター 技術補佐員）

II 講演「過去の災害から学ぶローテク防災術」

講師 松尾裕治（防災教育センター 特命教授）

※2班（各50名）に分かれて、訓練システムによる訓練と講演会の入れ替え制

この訓練の様子は、一般の方には公開していません。報道機関の方のみ、取材の一環として見学していただきます。当日取材を希望される報道機関の方は、下記までお知らせください。なお、訓練システムの詳細は別紙パンフレットをご参照ください。



➤ 問い合わせ先

香川大学危機管理研究センター 高橋真里

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL 087-864-2532（直通）

E-mail dcmkikikanri2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

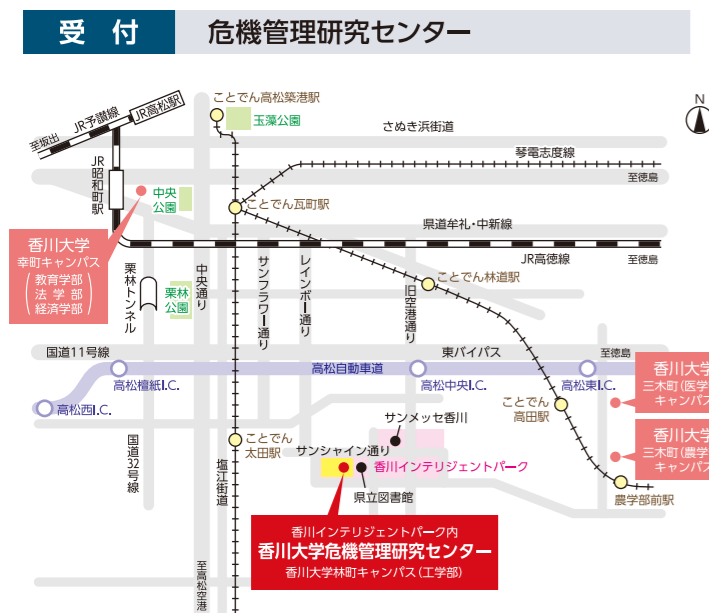
訓練の申し込みについて

- 実施日** 毎月第3火曜日 (13:30~15:30)
- 募集人員** 最大20名程度
※希望されるコースによって異なります
- 受講資格** 特に問いません (どなたでもお申し込み頂けます)
- 受講料** 無料
- 体験時間** 60分~120分程度
※希望されるコースや体験人数によって異なります
- 備考**
 - 当日は、動きやすい服装で足元はなるべくスニーカーでお越しください。
 - 訓練への利用や研究のため、訓練の様子を撮影やアンケートを実施させていただきます。目的以外の使用はいたしません。不都合がある場合はお申し出ください。
 - 上記以外の日程につきましても別途日程を調整し訓練を体験して頂くことができます。お気軽にお問合せください。

申し込み方法

香川大学危機管理研究センターのホームページ
(http://www.kagawa-u.ac.jp/csmrc/kunren_sisetsu/)
から申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記メール
または FAX にてお申込ください。

アクセスマップ



お申込み・お問い合わせ先

香川大学危機管理研究センター
<http://www.kagawa-u.ac.jp/csmrc/>

TEL/FAX 087-864-2532

E-mail dcmkikikanri2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

災害状況再現・対応能力訓練システムを用いた 訓練体験のご案内

- 学校防災コース
- 応急手当・救命コース
- 行政・企業の危機管理コース (現在開発中)



いざというとき
あなたならどうしますか？

東日本大震災は、個々の地域組織（行政・企業・病院・学校など）の被害にとどまらず、市町村が機能不全に陥り地域の存続を脅かす甚大な被害をもたらしました。今後も首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生が予想されており、東日本大震災を凌ぐ被害の発生が危惧されています。このような想定を超える大規模災害にどのように備え対処すれば良いのでしょうか。釜石市の小中学生の避難行動にそのヒントがあります。「想定を信じず」、「最善をつくし」、「率先避難者として振る舞う」ことを日頃の生活の中で訓練を重ねておくことが重要です。この行動は、後に「釜石の奇跡」と呼ばれましたが、素早い避難行動をとった小中学生からは、少し緊張したが訓練通りできたという言葉が聞かれました。日頃の訓練の重要性を示す貴重な教訓です。

香川大学危機管理研究センターでは、この教訓をもとに想定を超える災害発生時において、「適切な状況判断」、「素早い意思決定」、「速やかな行動」ができる、実践力（コンピテンシー）を備えた人材の育成を目的に、「災害状況再現・対応能力訓練システム」を開発し、平成 25 年 6 月 11 日（火）に公開訓練を実施しました。

この訓練システムでは、3D-VR（3次元バーチャルリアリティ）を用いて想定を超える災害状況を再現し、体験者がその危機的な状況の中で状況判断して、意志決定を行い、行動を起こすという一連の訓練を経て実践力の習得を目指します。この訓練システムは、想定を超える状況の突発性や状況判断の難しさによって訓練レベルを上げて行くことができます。また、繰り返し訓練することにより、想定を超える状況に素早く対応できる高度な実践力（コンピテンシー）を身につけることが可能になります。



開設コースの説明

体験可能なコースは、「学校防災コース」、「応急手当・救命コース」、「行政・企業危機管理コース」の3コースに分かれており、様々な訓練が体験可能です。また継続して新しい訓練の開発も続けています。

1 学校防災 コース

学校教員を対象に児童生徒の安全確保・避難誘導ができる人材育成コース

初期対応

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報時に児童生徒の安全確保・避難誘導を行う訓練

二次対応

地震の揺れが収まった後、次に発生する災害から避難するための訓練

引き渡し

児童生徒を保護者に引き渡すための手順を学習する訓練



2 応急手当・ 救命コース

一般人を対象に傷病者に対する適切な対応や救命処置ができる人材育成コース

トリアージ訓練

・多数の傷病者を、重症度と緊急度によって、治療や搬送の優先順位を決定するトリアージと呼ばれる方法を学習する訓練
・一次トリアージ（START法）に従った判定手順を学習する訓練

一次救命（AEDなど含む）

患者シミュレーターを使用してAEDや心肺蘇生などの救命処置に関する知識や方法を学習する訓練



3 行政・企業の 危機管理コース

行政・企業等の危機管理担当者を対象にリスクマネジメント（RM）や事業継続管理（BCM）が実践できる人材育成コース

（現在開発中）